

家庭学習合言葉『いつもの時間に いつもの場所で 自分から』

1 家庭学習の必要性について

学校では、「知・徳・体」のバランスのとれた教育を進め、児童の「生きる力」を育てています。この「生きる力」のひとつの要素として、「確かな学力」があります。「確かな学力」とは、次の3つの要素を含んだものです。

- ①基礎的・基本的な知識・技能の習得
- ②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等
- ③主体的に学習に取り組む態度（学習意欲）

③の「学習意欲」は、学校だけでなく、家庭との連携によって、より育まれていくものです。そのため、家庭学習は重要な役割を持ちます。児童の主体的に学ぼうとする意欲・態度を学校でも家庭でも同じように伸ばしていくことが大切です。

また、全国学力・学習状況調査の研究結果によると、**家庭と連携して学習習慣の定着を図るとは、学力向上に効果的である**といわれています。授業で習った漢字や計算練習をその日のうちに家庭で復習することで、自分の力となって身に付きます。

このようなことから、本校では、あらためてご家庭と協力して家庭学習の習慣化を図っていきたいと思います。

2 家庭学習の時間と場所について

家庭学習は、毎日なるべく同じ時刻に取り組みましょう。そうすることで習慣化され、勉強することが苦にならなくなります。時刻の設定は、各家庭の都合で考えていただき、決めたら家族全員で時間の確保に協力しましょう。また、学習する場所は、必ずしも自分の部屋である必要はありません。家族の目の届くところで学習することは、子どもたちにとって良いことが多いようです。困ることがあれば相談できるし、家族にとっては、どのような学習をしているかを知ることができます。大切なことは、「集中して学習に取り組める環境」です。取り組む時間の目安は、下記の通りです。

1年生：20分	2年生：30分	3年生：40分
4年生：50分	5年生：60分	6年生：70分

※個人によって違いはありますが、その学年の数字×10分+10分程度の目安です。

3 家庭学習の内容について

①家庭学習習慣化のポイント

＜低学年＞ 家庭学習を生活の中に位置づけましょう

論理的な理解の前に暗唱等が有効

名文を暗唱し、言葉に対する感覚を自然に磨く

ステップ1 机の前にすわる（決まった時刻に、20分間～30分間）

スケジュールを自分で作る

ステップ2 宿題やプリントを行う

音読・漢字練習、計算練習、日記等

時計の見方、長さ、重さ等を感覚で捉える

ステップ3 保護者が見届け、ほめる

＜中学年＞ 家庭学習で基礎・基本に繰り返し取り組みましょう

ステップ1 机の前にすわる（決まった時刻に、40分間～50分間）

スケジュールを自分で作る

ステップ2 宿題等を行う

音読・漢字練習、計算練習、日記等

ステップ3 「読み・書き・計算」の基本練習・繰り返しの練習を行うなど、自主学習的に取り組んでみる

<高学年> 家庭学習の内容を広げて取り組みましょう

ステップ1 机の前にすわる（決まった時刻に、60分間～70分間）
スケジュールを自分で作る

ステップ2 宿題等を行う

ステップ3 子ども自身で課題を設定し（予習・復習）、自主学習を行う

②家庭学習の具体的な内容

（音読）

・毎日行う。

※声に出して読むことは、脳を活性化するとともに、言葉の習得に欠かせません。

（漢字）

- ・プリントやノートを使い、継続的に練習する。
- ・読みながら書く、書きながら読むことも有効です。
- ・正しく読み仮名をつけて、書き順に気をつけて書く。
- ・ドリルにある漢字を見ながら読み仮名を書く。
- ・読み仮名にそって何も見ないで漢字を書く。
- ・文章の中で使えるようにする。

（計算）

- ・プリントやノートを使い、継続的に練習する。
- ・ドリルの問題をノートにやる。
- ・ドリルを見て答え合わせをする。間違えた問題を再度解いてみる。
- ・2回目、3回目と繰り返し取り組む。

（日記）

- ・習った漢字を使って書く。
- ・丁寧な文字で書く。
- ・時には、何行で書くかをあらかじめ決めて、その範囲で必要なこと落とさずに書く。

（読書）

- ・自分の選んだ本を読む。読書の記録を書く。

<各学年の年間のめあて>

1年生：50冊

2年生：100冊

3年生：3000ページ

4年生：5000ページ

5年生：8000ページ

6年生：10000ページ

（国語）

- ・言葉の意味を調べる。
- ・文章や詩をノートなどに書き写す。

（社会・理科）

- ・教科書、資料集や家にある本等を読んでまとめる。
- ・興味のあることや疑問に思ったことについて調べてみる。

（体力づくり）

- ・「体力アップカード」を使って、なわとびやマラソンなどに取り組む。
- ・素振りやリフティングなどの練習をする。

早寝・早起き・朝ごはんを規則正しい生活をしましょう！

寝るまでに学習準備をします！

あいさつや返事をします！

※この手引きは、お子さんと一緒にいつも見られる所に置いておきましょう。

かていがくしゅう 家庭学習のすすめ



ふくしゅう
復習すると、がっこう
学校で

まなんだ
学んだことが、じぶん
自分の

ちから
力になります。

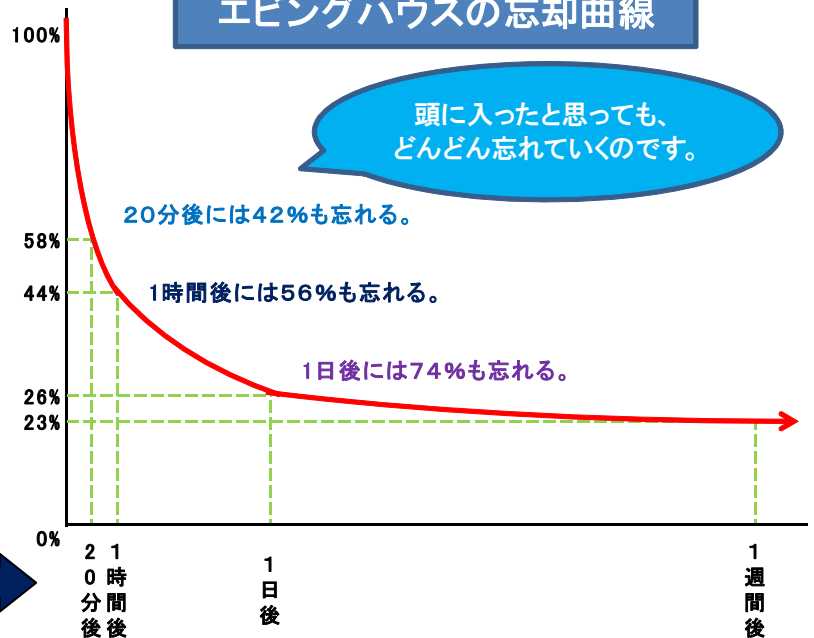
ふくしゅう
復習しよう！

ふくしゅう
○復習しないと、すぐ

わす
忘れちゃいます！



エビングハウスの忘却曲線



よしゅう
予習をすると、じゅぎょう
授業が

たの
楽しくなります。

よしゅう
予習をしよう！

ぎもん
○疑問をもって、あす
明日の

じゅぎょう
授業にのぞもう！

かていがくしゅう
家庭学習を**つづける**と、しゅうちゅう
集中して

がくしゅう
学習できるようになります。

けいかくひょう
計画表を作ろう！

べんきょうじかん
○勉強時間を決める。

せいかつ
○生活リズムを整える。

もくひょう
○目標をもってどりよく
努力する。



きょう
今日からやってみよう！ そして、まず3日乗り越えよう！

ちから
めきめき力がついてきます！ がくりよく
学力アップ！！

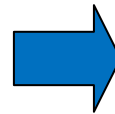
かていがくしゅう

家庭学習4つのポイント



いえ べんきょう じこく き
1 家で勉強する時刻を決めておく。

まいにち おなじじこく はじめましょう
毎日なるべく同じ時刻に始めましょう。
つづ け しゅうかん べんきょう
それを続け、習慣になると勉強すること
らく
が楽になります。



けいかくひょう
計画表を

つく
作ろう！

さいしょ しゅくだい
2 最初に、まず「宿題」をやる。

しゅくだい かたづ
まず宿題を片付けて、すっきりしましょう。
つぎ じしゅがくしゅう
次は、自主学習です。

ふくしゅう
復習しない
わす
と忘れちゃ
います！

ふくしゅう ひ
3 復習はその日のうちにやる。

きょうがくしゅう ないよう きょうかしよ
まず、今日学習した内容を、教科書、
ふりかえ
ノートで振り返ってみよう。



ふくしゅう
復習を
しよう！

じかん よゆう よしゅう ちょうせん
4 時間に余裕があるときには、予習にも挑戦！

つぎ なら きょうかしよ よ
次に習うところの教科書を読むだけで
こうか
も、かなり効果があります。



よしゅう
予習も
しよう！